

J R南武線連続立体交差事業に関する地域勉強会（第6回） 開催要旨

開催日時 平成29年9月20日（水） 18時00分～19時10分

開催場所 中原区役所 5階 第501会議室

- 議 事**
- 1 第5回の主な意見と基本的な考え方について
 - 2 課題解決に向けた取組みについて

《開 会》

1 第5回の主な意見と基本的な考え方について

[意見要旨]

- 地域勉強会 ○その他の意見で、移転が必要となる地権者への対応についての回答で、なるべく少ない人数での説明会を開催とあるが、少ない人数とはどのくらいの単位を考えているのか。
- 事務局 ○現時点で、何人といった具体的なものを決めているわけではありませんが、街区などの単位でご説明をさせて頂きたいと考えています。

2 課題解決に向けた取組みについて

[意見要旨]

- 地域勉強会 ○まちづくりの方向性のキーワードに「バス路線の充実」という記載があるが、自動運転などの新たな交通システムの開発が進められている。自動運転などは高齢者の交通手段としても有益なものであるため、記載する必要があるのではないかと。
- 事務局 ○新たな交通システムに関する内容の記載についても検討を行います。
- 地域勉強会 ○JR中央線の事例についての資料があるが、昨年、現地調査に行った際に色々な店舗が高架下でゆとりのある雰囲気営業していたが、賃料はどのくらいなのか。中央線の高架事業は事業費を東京都が負担し行ったものと考えられるが、東京都側がJRに地域貢献として抑えた賃料設定などを求めているたりしないのか。そのあたりの仕組みの有無について研究してほしい。
- 事務局 ○確認します。
- 地域勉強会 ○現在すでに高架化されている区間では町会の会館や、自転車の駐輪場として利用されているが、回遊性については劣っている。今後JRとしっかり打合せをしてまちを活性化できるような方策を検討してほしい。
- 地域勉強会 ○連立事業の事業費のほとんどは川崎市の税金から出されるものとなるから、地位貢献として高架下の利用についてJRに弾力的に対応してもらえるよう、市側からしっかりと調整してほしい。
- 地域勉強会 ○鹿島田・新川崎駅周辺におけるまちづくりの方向性で、「バス路線の充実による周辺市街地との連携強化」というなかで、そのポイントは交通広場の充実なのではないかと考えられるが、新川崎に整備されている交通広場は実際にはほとんど使われていない。地元の住民からするとわざわざ新川崎駅の交通広場まで行って利用するという事はほぼない。現状のタクシーの利用についても不便を感じている。
- 事務局 ○今後、地域の方々と各駅周辺のまちづくりを検討していく中で、鹿島田駅周辺については、市が管理している敷地を含めて駅前の再整備としてバスベイやタクシー乗り場などについても協議をしていきたいと考えています。
- 地域勉強会 ○商店街の活性化について交通アクセスは大きな影響を及ぼすものであるため、総合的な検討をしてほしい。また、小売店舗の経営者はかなり厳しい状況で頑張っているが、高架下に周辺より安い賃料で出店できる可能性など、地元の店舗が活性化できる方策を是非検討してほしい。

- 事務局 ○既存の商店街の活性化については我々も課題であると捉えておりますので、商業振興の部署と連携しながら様々な方策や可能性を検討していきたいと考えております。
- 地域勉強会 ○連続立体交差事業の推進により解消する課題として、踏切横断時に歩行者と自転車が錯綜し危険と挙げられている。事業期間が長期になるということであれば、危険な状態が長期で続くこととなるが、その対策などは考えているのか。
- 事務局 ○連立事業と並行して、現状の課題の改善について、現在もJRと調整しています。例えば、歩行者や自転車が通行しやすい踏切の整備や、片側にしかない改札を両側に整備することで、踏切の横断を減らすことができないのかなどについても検討を行っております。
- 地域勉強会 ○踏切については、危険性を感じることもあるので、人の流れや車の流れなどを総合的に検討して、安全な環境づくりができるよう是非検討を行ってほしい。
- 地域勉強会 ○商店街の活性化を検討する場合、個の店舗や商店街の単位で行う方策には限りがある。地元企業と協力、連携して商店街を活性化できる道筋などを誘導してほしい。
- 地域勉強会 ○商店街の現状としては、賑やかで人通りがあっても商店会の活動そのものはかなり厳しい状況となっている。テナントが入っても大手の企業だと商店会の活動については協力的ではない傾向にある。高架下への店舗の整備・誘導については既存商店街の活性化につながるようなものを検討してほしい。